平成２２年度　第１０回　大学運営連絡会議事要旨

日　時　　平成２３年１月１１日（火）　１０時３０分～１１時４０分

場　所　　学長室

出席者　　学長，瀬口理事，中島理事，米倉理事，宮﨑理事，川上監事，上野文化教育学部長，平地経済学部副学部長（代理出席），濵﨑医学部長，林田工学系研究科長，和田農学部副学部長（代理出席），稲岡附属図書館長，遠藤教養教育運営機構長，只木総合情報基盤センター長，事務局長，

陪席者　　大島教授（学長補佐室），外尾教授（学術室）

オブザーバー　　各部長

◎ 学長から前回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。
◎ 学長から，経済学部長及び農学部長が欠席のため，それぞれ平地先生，和田先生が代理出席されている旨の報告があった。

検討事項

（１）佐賀大学国際戦略構想（案）について
　中島理事から，本件については，１２月の教育研究評議会において（案）を示し，同評議会及び現在までに各部局から提出された意見を集約している旨及び今後の国際交流センター（仮称）設置に向けたスケジュールについて説明があった。
　その後，文化教育学部長及び医学部長から（案）に対する要望等の発言があった。

（２）その他
　特になし。

報告・連絡事項

（１）全学教育機構（仮称）設置準備室における検討状況について
　瀬口理事から，最近の状況について，全学教育機構設置計画の中間報告について各学部へ意見，要望及び質問について照会を行っていること，ま

た各学部の説明会における質疑についても集約している旨の報告があり，併せて１２月２４日に第１２回人事・組織運営に関する検討委員会，１月６日に第９回教育カリキュラム検討委員会を開催した旨の報告があった。

（２）平成２２年度就職状況について（１２月１日現在）

瀬口理事から，１２月１日現在の本学における就職内定状況について，昨年度の同時期と比較した場合，学部の内定率が７％程度の減となっており，その要因の一つとして文化教育学部の内定率が大幅な減少となっている旨の報告があった。

また，学務部長から，報道機関へ本学の就職内定状況のデータを提供したところ，文化教育学部の内定率の低い原因について問合せがあった旨及び今後の就職内定状況公表における留意事項を作成した旨の報告があった。

また，上野教育学部長から，文化教育学部の内定率が低くなった原因及び今後の内定率増加の対応策等について説明があった。

（３）行事届（コンパ用）について

瀬口理事から，昨年３月に発生した学生の飲酒死亡事故の調査結果等を踏まえ今後の再発防止に取り組むことから，また学生に対し注意喚起を促す意味でも学外で課外活動をする際に提出させている行事届をコンパにおいても提出させることとした旨の報告があった。

（４）平成２３年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額等（政府案）の概要について

学長から，政府案にける本学の平成２３年度運営費交付金については，対前年度比２２百万円増（０．２％増）となっており，新規プロジェクト２件による特別経費の増がその主な要因となっている旨及び施設整備実施予定事業として病院再整備が本学を含め全国で４大学に認められている旨の報告があった。

（５）財務レポート２０１０について

学長から，これまでは財務部作成のレポートであったが，国の指示・要望等から，学外者のみならず学内の教職員が理解できるように，今回から財務部を中心とした佐賀大学全体の財務レポートとして作成した旨の報告があった。また，本レポートの特徴として，他大学と比較した場合の本学の位置や数年間の推移等についてもわかるように作成している旨の報告があった。

また，本学の間接経費等（オーバーヘッド経費）獲得に貢献した研究者等の説明があり，今後も更なる外部資金獲得に協力願いたい旨の報告があった。

（６）その他

○ 学長から，１月１７日開催予定の経営協議会での意見交換のテーマが，「附属病院の再整備に向けて」となっており，同協議会後に予定している懇談会でも話題になると思われるため，その対応についての依頼があった。

○ 学長から，中央教育審議会から「大学院教育の実質化の検証を踏まえた更なる改善について（中間まとめ)」の報告が出されている旨の報告があった。

○ 遠藤教養教育運営機構長から，１月１４日締め切りの評価反映特別経費の予算配分について，来年度以降も継続して計画があるならば予算配分の時期をもう少し早くお願いしたい旨の要望があった。